

令和6年3月28日（木）

山本一太群馬県知事

定例記者会見

本日の主な項目

- **群馬パーセントフォーアート**
- **メディア連携推進主監の設置**
- **新型コロナ対応の変更**

群馬 パーセント フォーアート コンセプトペーパー

Gunma-percent-for-Art Concept paper

群馬県では、欧米発の「1% for art」の精神を生かしながら、アートの持つ様々な力を活用して、人々を惹きつける求心力を持つ群馬県の実現と県民の幸福度の向上を図るため、「群馬パーセントフォーアート」推進条例を制定しました(令和5年4月1日施行)。県予算の一定割合をアート振興に充てることを明文化した全国初の条例です。

群馬モデルの 「パーセントフォーアート」

条例では「1パーセント」ではなく、「パーセント」という表現にしています。公共投資に限定して1パーセントを支出する欧米発祥の「1% for art」の精神を生かしながら、より広く予算全体から一定割合を支出するといった、群馬県ならではのアートによる新たな地域活性化(群馬モデルの構築)を目指します。

欧米発祥の 1% for art

公共工事、もしくは公共建築(建物・橋梁・構造物、公園等)の費用の1%を、その建築物や空間を装飾するアートのために支出しようという考えで、アメリカで20世紀初頭に始まりました。戦後、文化芸術振興策の一つとして欧米で導入され、現在では韓国、台湾も法制化しています。

群馬パーセントフォーアート コンセプトペーパー

「群馬パーセントフォーアート」推進条例 理念の実現に向けた骨組み

一定の予算をアート振興に使う



サステナブルな仕組み



群馬パーセントフォーアート 実現に向けた取組①

群馬県予算の投資的経費の

0.1% 相当額

をアート振興施策に計上



一定予算を
アート振興に

R6年度当初予算

投資的経費

約**960**億円

アート振興

約**9,000**万円

群馬パーセントフォーアート 実現に向けた取組②



民間投資を
呼び込む

- 1** 民間支援にインセンティブ
寄付金優遇・ふるさと納税
- 2** アートエコシステムの構築 (仮称)
法人 **ぐんま未来デザイン** 設立
- 3** アートへの投資促進
支援ファンドを創設

詳細は
こちら



メディア連携推進主監の設置

メディア連携推進主監

設置
目的

メディアとの継続的な関係性の構築

なかむら まさひで

中村 昌秀 氏 太田市出身 56歳

元東海テレビ アナウンス部長

11年半にわたりメインキャスターとして
夕方のニュースの顔を務める



4月1日
就任

新型コロナ対応の変更について

 4月1日から **通常の医療提供体制** になります 

変更点

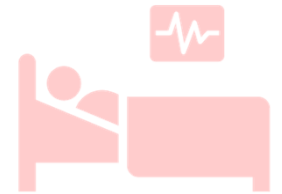
1

一般の病気と同じく **身近な医療機関を受診**

変更点

2

医療費の**公費負担の終了**



変更点

3

全額公費によるワクチン接種 終了

